

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	説明	理由・改善点
環境・ 体制整備	① 利用定員は適切(指導訓練室等スペース密にならないよう)で、屋外に出たり、距離を取るなどの対策が取られているか	5	⑥			今年から重心と重心以外のスペースを分け、狭く感じるかもしれないが、一人当たり約4㎡の基準は満たしている。小上りの活用が不十分。	①最大限、できる範囲でやっていると思う。 ②1班の部屋の中で、子どもと大人が8名以上いると難しい場面が出てくる→重心のスペースが狭いので、もう少し環境設定(机やロッカーの位置の工夫)を行う
	② 職員の病休等が重なった時に代理の配置に努める等、職員の配置は守られているか	⑧	3			コロナ禍で、感染防止を優先して、少しでも体調が悪いと休んでもらっているので、急に人手不足の日がある。	①病欠等で人手不足もあつたが何とか良好に運んでいると思う。 ②急な調整は難しいので、活動内容を工夫しなければならない。
	③ 設備について、危険が伴うような破損や故障が放置されていないか。感染予防やバリアフリー化の努力や工夫がされているか	⑧	2				・係を付けたとしても範囲が広いので、スタッフの気付きを伝えられるのが良い。
業務改善	④ 業務(活動・行事・施設運営・事務・環境整備など)の改善を進めるための目標設定と振り返りが十分されているか	⑤	4		1		②振り返りが、やりきれていない。
	⑤ ガイドラインの評価表の結果を自己評価に繋げ、業務改善につなげているか	⑩	1			具体的な指摘だと業務改善を取り組みやすい。	
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	⑩			1	2021年度は9月の保護者会で実施→理事会などで分析し、改善点議論→1月ホームページで公表	
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	⑤	1	3	1	毎年、法人の3施設で順番に実施しているが、コロナ禍等で2年見送っている。来年度を予定。	③繋がられたこともあるし、取り組みが不十分なところもある→記録のつけ方について振り返りを行う
適切な 支援の提供	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	⑪					
	⑨ 子どもの発達や適応行動を把握するアセスメントについて学ぶ機会を設け、定期的に行っているか	⑪					
	⑩ 子どもの願いや気持ちと、保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	⑨	2				②保護者のニーズをもっと知りたい。
	⑪ 活動内容や方法をチームで話し合っているか	⑪					
	⑫ 感染リスクが高い活動を見合わせる、リスクを下げる対策を講じて子どもたちの活動を保障する、等が意見交換を行って慎重に検討されているか	⑪					
適切な 支援の提供	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、天候や、子どもの心身の健康状態に応じて、内容や取り組みを工夫して支援しているか	⑪					
	⑭ チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	説明	理由・改善点
	⑭ 子どもの状況に応じて、集団活動だけでなく、個別の活動を必要に応じて取り入れ、柔軟に活動しているか	⑪					
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	⑪					
	⑯ 行った支援の振り返りを行い、気付いた点や子どもに関する必要な引き継ぎ等をスタッフ間で共有しているか	⑪					
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	⑨	1		1		・溜め込んで後日になってしまっている場合があり、支援の検証や改善に繋がりにくくなるので、溜め込む状況を改善する必要がある。 ・身体拘束の記載は人によってまちまち。
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、計画の見直しの必要性を集团的に判断しているか	⑪				子ども一人当たり、年2回ケース会議	
関係機 関や保 護者との 連携	⑲ 興味や経験の幅を広げるような工夫をして支援しているか	⑪					
	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか			—		コロナ禍で電話で行われることが多く、できていない。	
	㉑ 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を十分に行われているか	⑨			2	各学校から年間予定を保護者を通じて入手。学校(城東・墨東)が開催する放課後等デイサービス連絡会に出席。必要な時に個別支援会議を実施。	
	㉒ 医療的ケアが必要な子どもを受入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			—		今までは医療的ケアの児童が不在。最近、主治医から指示書が出されたケースは、主治医、保護者、学校と連絡を密に取りながら進めたい。	
⑳	㉓ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			—		コロナ禍でできていない。	
	㉔ チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	説明	理由・改善点
㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			—		コロナ禍で、十分できていないが、必要に応じて行っている。	

関係機関や保護者との連携	②5	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	—			コロナ禍でできていない。		
	②6	地域の中で活動したり、障害のない子どもと一緒に活動や場の共有したりする機会があるか	—			コロナ禍で、空いている公園・プールに行くが、その中で交流ができることがある。		
	②7	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	—			コロナ禍で会議が招集されていない。会議の開催に向けて、準備している。		
	②8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8	2				
	②9	保護者の対応力の向上を図る観点から、課題解決のための取り組み(学習会の企画や案内、サービスの紹介、緊急一時保護など)を行っているか。	8			3	コロナ禍であまりできていないが、10/16に父親座談会の開催予定。	
保護者への説明責任等	③0	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7			4		
	③1	保護者からの子育ての大変さや悩み等を聞いた際、傾聴や共感、意見交換を行う、各事業担当職員につなぐなど、適切なサポートにつなぐ取り組みを行っているか	10			1		
	③2	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	9			2		
	③3	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ誠実に対応しているか	11				苦情対策係は所長としている。外部の係として第三者委員にお願いしている。そのことを重要事項説明会に記入してある。	
保護者への説明責任等		チェック項目					説明	理由・改善点
	③4	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	11					
	③5	個人情報に十分注意しているか	11					
	③6	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	11					
	③7	事業所や障害理解の増進を図るため、ボランティアや実習生を受け入れる等、地域に開かれた事業運営を図っているか	11				コロナ禍で、地域との行事はできていない。ボランティアは、感染対策に理解と協力の得られる人のみ、お願いしている。	
非常時等の対応	③8	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	11				今年、避難所を数矢小から深川2中に変更し、保護者会で周知を図った。	
	③9	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	11					
	④0	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保し、日常的に適切な対応をしているか	11				毎年、春に倫理綱領とともに全員で研修を行い、中途採用者には採用直後に研修を行っている。	
	④1	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、個別支援計画に記載しているか	11				今年度、身体拘束適正化委員会をもうけ、話し合いを始めたところ。	
	④2	食物アレルギーのある子どもについて、おやつ等の日常的にはもちろん、行事の際にも適切な対応がされているか	11					
	④3	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有し、事故予防のための対策が講じられているか	10	1				

改善点

1. 1班の部屋が少しでも広く使えるように、テーブルや棚の配置を変更した。
2. 記録のつけ方を見直したい。
3. 個別支援計画について、11月中に保護者にアンケートを取り、変更希望や疑問を出しやすいように工夫したい。